

平成25年度 行政評価 施策カルテ

施策名	1 危機管理体制の充実
-----	-------------

施策主管課	危機管理課	総合計画記載頁	81ページ
-------	-------	---------	-------

1 施策の位置付け

政策の柱	I 市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	7 危機への備え・対応力を高める	政策の達成目標 (基本施策目標)	市民、地域、行政の危機への備え、対応力が高まり、地震や風水害をはじめとするさまざまな危機が発生した場合に、適切な行動ができるようになっています。
------	-----------------------------	----------------	------------------	---------------------	--

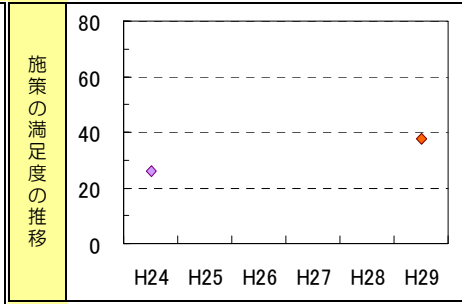
2 施策の取組状況

施策目標	市民の生命、身体、財産を脅かす危機に対応できる環境が整っています。
------	-----------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24 (H23.3現在)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
	指標1	危機管理研修等参加人数(人)		単年度目標値	275	280	285	290			295	300	A	中核市平均	実績値						
現状値 (H23実績)		274人	実績値	314																	
目標値 (H29)		300人	単年度の達成度	114.2%																	
① 施策指標			単年度目標値								中核市平均	実績値									
	現状値		実績値																		
	目標値 (H29)		単年度の達成度																		
① 施策指標			単年度目標値								中核市での本市の順位	実績値									
	現状値		実績値																		
	目標値 (H29)		単年度の達成度																		
③ 市民意識調査結果			単年度目標値								中核市での本市の順位	実績値									
	現状値		実績値																		
	目標値 (H29)		単年度の達成度																		
											施策の満足度(%)	調査結果	26.0%								
											目標値 (H29)	37.7%	前年度からの増減								

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{単年度目標値}} \times 100 (\%)$
★ 減減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{単年度目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



施策指標	A: 達成度90%以上 B: 達成度70%~90%未満 C: 達成度70%未満
中核市等との水準比較 (中核市での本市の順位)	A: 上位1/3(1~14位) B: 中位(15~28位) C: 下位1/3(29位以下)
市民意識調査結果 (満足度)	A: 前年度より向上(2%超) B: 前年度同水準(±2%以内) C: 前年度より低下(−2%未満)

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策指標	研修や訓練への参加者が増加傾向にあり、日常的な危機や新型インフルエンザなど様々な危機に適切に対応できる能力が向上している。	市民満足度		進捗の状況	順調
------	---	-------	--	-------	----

3 施策を構成する事業の状況

No.	事業名	戦略P・主要事業	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		開始年度	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物（誰・何に）	取組（何を）		
1	市職員が参加する研修・訓練		・危機対応能力の向上	市職員	・市職員の危機対応能力の向上のため、研修や訓練を開催	—	市職員が危機等に対し迅速かつ的確に対処できるよう、研修や訓練により危機対応能力の向上を図る必要があることから、今後も継続して実施する。
2	健康危機管理対策事業		・健康危機管理能力の向上 ・健康危機に関する情報の収集・提供 ・健康危機に関する関係機関との連携強化	健康被害が発生したあるいは発生する恐れのある市民	・専門委員会や各種研修会等を開催	H14	専門委員会や各種研修会等を通じた情報収集等に努めるとともに、実効性の高い模擬訓練の実施に向けた検討を行う。
3	新型インフルエンザ対策		・健康危機管理能力の向上 ・健康危機に関する関係機関との連携強化	市民	・感染拡大防止のための医療体制の整備を図るため、関係機関との連絡会議を開催する。	H20	新型インフルエンザによる市民の健康被害等を最小限にとどめるため、従来の医師会との連絡会議から地域連絡協議会に移行し、医師会に加えて栃木県や薬剤師会、警察等の関係機関との連携を強化して実施する。
4	感染症の発生・蔓延防止対策		・健康危機管理能力の向上 ・健康危機に関する関係機関との連携強化	感染症患者及びその接触者、感染症に感受性のある市民	・感染症に感染した可能性のある者への健康診断勧告 ・病原体に汚染された恐れのある場所の消毒	H11	O157等の腸管出血性大腸菌等の感染症による健康被害を最小限にとどめるため、正確な情報を把握し迅速に対応することにより二次感染防止が図られることから、今後も継続して実施する。
5	感染症発生動向調査事業		・健康危機に関する情報の収集・提供 ・健康危機に関する関係機関との連携強化	市民、医療機関、県、国	・感染症法に基づき、医師から感染症の報告を受け、県及び国へ報告する。 ・市内の感染症流行状況を解析し、市民に対し、患者発生状況や予防策等の情報をホームページ等を利用して迅速に提供する。	H11	本事業の実施により、感染症の発生動向をタイムリーに把握することが可能となり、感染症のまん延を防止するための有効な手段となっていることから、今後も市民への効果的な周知方法を検討しながら、継続して実施する。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆研修や訓練を実施することにより、危機管理に対応できる人材の育成が必要である。</p> <p>◆新型インフルエンザ等の感染症による市民の健康被害や経済に及ぼす影響を最小限にとどめるため、関係機関との連携を強化し、効果的な感染拡大防止策等の措置を講じる必要がある。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉 本市を取り巻くさまざまな危機に対し、的確な対応ができる危機管理の体制づくりが必要である。</p> <p>〈主要事業〉</p> <p>〈その他個別事業〉 ◆新型インフルエンザ対策 新型インフルエンザによる市民の健康被害等を最小限にとどめるため、従来の医師会との連絡会議から地域連絡協議会に移行することで、医師会に加えて栃木県や薬剤師会、警察等の関係機関との連携を強化し、効果的な感染拡大防止策や医療体制の確保等を図る。</p>